

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原保育医療福祉専門学校福岡校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務 専門課程	医療管理2年制学科	夜・通信	440 時間	160 時間	
	医療福祉専攻科	夜・通信	290 時間	80 時間	
教育・社会福祉 専門課程	保育福祉学科	夜・通信	320 時間	160 時間	
	介護福祉学科	夜・通信	456 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原保育医療福祉専門学校福岡校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校法人大原学園HP 情報公開ページにて公開している。
https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/pdf/officer_list.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	司法書士事務所 所長	2019.4.1～ 2023.3.31	法人運営における法 務的な検証、管理
非常勤	Web デザイン・システム 開発・印刷関連企業 代 表	2019.4.1～ 2023.3.31	学生募集、教材開発 への助言
非常勤	前：不動産関連企業 代表	2019.4.1～ 2023.3.31	校舎等学習環境の 整備への助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原保育医療福祉専門学校福岡校
設置者名	学校法人 大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1. 授業計画書(シラバス)の作成過程</p> <p>各学科の教務会議及び授業研究により、授業内容、授業方略、到達目標、目標到達までの学習順序や手順、成績評価の方法などが、授業科目の特性、専門分野における知識や技術の進歩、社会の変化などに適合し、最良なものになっているかを検証している。また、教育課程編成委員会を設置し、外部委員として専門分野の有識者、実務家、関連企業や団体の職員等を招いて、社会のニーズに合った教育内容になっているか、将来の職業で活かせるような学習内容や教授方法になっているか、評価の方法が適切であるかなどについて意見をもらい見直しを行うことで、授業計画(シラバス)を含む教育課程編成全体の改善を行っている。</p> <p>2. 授業計画書の作成・公表時期</p> <p>前年度の授業計画書(シラバス)を元に各学科の教務会議及び授業研究にて、振り返りと見直しが行われる。さらに、年2回開催(原則8月と12月)される外部委員を招いた教育課程編成委員会で聴取した意見を踏まえて、次年度の方針や改善策が決定される。その内容に従って科目担当者が授業計画書(シラバス)を作成し、教務会議での確認および承認を経て、当該年度4月にホームページにて公開される。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>希望者は誰でも「閲覧用シラバス」をHPにて公開し閲覧が可能な状態にしている。</p> <p>掲載 URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則並びに履修要綱において、出席、試験、成績、進級および卒業要件について規定し、当該規定を遵守して各学生の学修成果に対して厳格な評価を実施している。

なお、学生に対しては当該規定を学生便覧に記載して周知を図っている。

学生便覧より抜粋

3. 学業成績について

学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。

なお、学業成績は、学期または必要に応じて、授業の出席状況とともに保護者宛に通知する。

- (1) 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種で判定し、「優・良・可」を合格（認定）とし「不可」は不合格（不許可）とする。
- (2) 不合格の科目については、特別試験を行い、基準点に達した場合に合格とする。
- (3) 試験には認定試験、定期試験、検定試験、追試験及び再試験等がある。追試験は、やむを得ない事故等により定期試験を受けなかった者に対して行い、再試験は、受験の結果、不合格となった者のためにこれを行う。ただし、外部の検定試験は、再受験等の措置はない。
- (4) 追試験及び再試験は、本校において必要と認めた場合に限りこれを行う。
- (5) 試験内容や判定基準は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンス等で確認すること。

学則より抜粋

(学業成績)

第26条 学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもってこれを表し、次のとおりとする。

(1) 医療管理2年制学科・医療福祉専攻科・日本語1年制学科

優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

(2) 保育福祉学科・介護福祉学科

優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業の達成度を客観的に評価するための指標として GPA (Grade Point Average) を採用し、本校の成績評価に使用している。本校では GPA を基準に成績の分布状況の把握に努めているほか、学生個人の就職や大学編入学への推薦等の際にも客観的指標として GPA を活用している。この客観的な成績評価指標については HP で公開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な算出方法は、 $\text{GPA} = \frac{\text{各科目の(時間数} \times \text{評価ポイント)の合計}}{\text{総時間数(履修登録時間の総数)}}$ (評価ポイント 優:4 ポイント 良:3 ポイント 可:2 ポイント 不可:0 ポイント) である。 ・GPA は学期ごとに求め、学生自身の学修状況の理解に役立つ。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>客観的な成績評価指標はHPにて公開している。また、算出方法についても同様に公開しており、教職員室においても保管管理し希望者に対しては閲覧できるようにしている。</p> <p>掲載 URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則より抜粋</p> <p>(卒業)</p> <p>第17条 本校に在学し、下記に定める授業時間数以上を履修し、かつ、その該当する所定の授業科目について合格に達して卒業資格を得た者には、卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 医療管理2年制学科は1, 860時間</p> <p>(2) 医療福祉専攻科は930時間</p> <p>(3) 保育福祉学科は1, 710時間</p> <p>(4) 介護福祉学科は2, 044時間</p> <p>(5) 日本語1年制学科は800時間</p> <p>2 関係法令に基づき、本校が定める授業科目を履修して、本校の教育・社会福祉専門課程保育福祉学科を卒業する者は保育士の資格(児童福祉法第18条の6)を取得することができる。</p> <p>学生便覧より抜粋</p> <p>1. 卒業について</p> <p>各課程・学科の修業年限に在籍し、所定の授業科目の履修を積み重ね、卒業に必要な授業科目に合格し、所定の全教育課程を修了した認められた場合、卒業できる。その場合には卒業証書を授与する。</p> <p>(1) 卒業を認められる者のうち、文部科学大臣が認める所定の学科(1年制コースを除く)を修了した者は、「専門士」の称号を授与する。また、4年制の課程を修了した者は、「高度専門士」の称号を授与する。</p> <p>(2) 各課程・学科に定められた授業科目や検定試験等で一定の基準を満たしていない者は追試験等を合格しなければ卒業できない。</p> <p>(3) 卒業に関する要件や追試験等の日時は、各課程・学科によって異なるため、入学後のオリエンテーションや進級ガイダンス等で確認すること。</p> <p>15. 養成施設の修了認定について</p> <p>(3) 養成施設の修了認定基準</p> <p>次に掲げる3項目に基づき、校長がこれを認定する。</p> <p>1 履修時間の出席率が基準を満たしている者 授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2を満たす者 実習の出席時間数が履修時間数の5分の4を満たす者</p> <p>2 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者</p> <p>3 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>入学時に学生に配布する「学生便覧」において公表している。また、各クラス担任が常時教職員室に保管管理し学生が随時参照閲覧できるようにしている。</p> <p>掲載 URL : https://www.o-hara.ac.jp/about/joho/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原保育医療福祉専門学校福岡校
設置者名	学校法人 大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
収支計算書又は損益計算書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
財産目録	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
事業報告書	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
監事による監査報告（書）	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療管理2年制学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間/単位	2,840 単位時間 /単位	700 単位時間 /単位	1,000 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			4,540 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		30人	0人	3人	5人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務会議及び授業研究により、授業内容、授業方略、到達目標、目標到達までの学習順序や手順、成績評価の方法などが、授業科目の特性、専門分野における知識や技術の進歩、社会の変化などに適合し、最良なものになっているかを検証している。また、教育課程編成委員会を設置し、外部委員として専門分野の有識者、実務家、関連企業や団体の職員等を招いて、社会のニーズに合った教育内容になっているか、将来の職業で活かせるような学習内容や教授方法になっているか、評価の方法が適切であるかなどについて意見をもらい見直しを行うことで、授業計画（シラバス）を含む教育課程編成全体の改善を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもって表し、次のとおりとする。優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。

卒業・進級の認定基準
(概要) 所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、平素の学習成績ならびに出席状況を審査して卒業（又は進級）を決定する。
学修支援等
(概要) 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、三者面談等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
29人 (100%)	6人 (20.7%)	23人 (79.3%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 医療業界（病院、クリニック、調剤薬局等）、医薬品販売業（ドラッグストア）等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、入社前準備プログラム（PCP教育）、学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 診療報酬請求事務、医薬品登録販売者、医師事務作業補助技能認定試験、MOS 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	7人	15.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更（大学進学・就職）		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。 また、教員に対しても科内での管理職を交えたミーティングを設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	医療福祉専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	930 単位時間/単位	1,310 単位時間/単位	760 単位時間/単位	610 単位時間/単位	0 単位時間/単位	0 単位時間/単位
			2,680 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		7人	0人	1人	1人	2人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務会議及び授業研究により、授業内容、授業方略、到達目標、目標到達までの学習順序や手順、成績評価の方法などが、授業科目の特性、専門分野における知識や技術の進歩、社会の変化などに適合し、最良なものになっているかを検証している。また、教育課程編成委員会を設置し、外部委員として専門分野の有識者、実務家、関連企業や団体の職員等を招いて、社会のニーズに合った教育内容になっているか、将来の職業で活かせるような学習内容や教授方法になっているか、評価の方法が適切であるかなどについて意見をもらい見直しを行うことで、授業計画（シラバス）を含む教育課程編成全体の改善を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもって表し、次のとおりとする。優は80点以上、良は60点以上、可は50点以上、不可は49点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、平素の学習成績ならびに出席状況を審査して卒業（又は進級）を決定する。
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、三者面談等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
（主な就職、業界等） 医療業界（病院、クリニック、調剤薬局等）、幼稚園、保育園等の福祉施設			

<p>(就職指導内容)</p> <p>全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、入社前準備プログラム（PCP教育）、学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシート の書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。</p>
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>診療報酬請求事務、診療情報管理士、社会福祉主事任用資格、第2種幼稚園教諭免許状等</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
-		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<p>学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。</p> <p>また、教員に対しても科内での管理職を交えたミーティングを設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	保育福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間/単位	750 単位時間 /単位	1,650 単位時間 /単位	320 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			2,750 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		42人	0人	7人	9人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>教務会議及び授業研究により、授業内容、授業方略、到達目標、目標到達までの学習順序や手順、成績評価の方法などが、授業科目の特性、専門分野における知識や技術の進歩、社会の変化などに適合し、最良なものになっているかを検証している。また、教育課程編成委員会を設置し、外部委員として専門分野の有識者、実務家、関連企業や団体の職員等を招いて、社会のニーズに合った教育内容になっているか、将来の職業で活かせるような学習内容や教授方法になっているか、評価の方法が適切であるかなどについて意見をもらい見直しを行うことで、授業計画（シラバス）を含む教育課程編成全体の改善を行っている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもって表し、次のとおりとする。優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、学習成績ならびに出席状況を審査して卒業（又は進級）を決定する。なお、当学科は、養成施設の修了認定基準を定め、次に掲げる3項目に基づき、校長がこれを認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 履修時間の出席率が基準を満たしている者 授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2を満たす者 実習の出席時間数が履修時間数の5分の4を満たす者 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、三者面談等を実施している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)

<p>（主な就職、業界等） 児童福祉業界（保育園、認定こども園、障害児施設等）、各種福祉施設 等</p>
<p>（就職指導内容） 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、入社前準備プログラム（PCP教育）、学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。</p>
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、リトミック指導資格、レクリエーションインストラクター、幼児体育指導者等</p>
<p>（備考）（任意記載事項） 関係法令に基づき、本校が定める授業科目を履修して、本校の教育・社会福祉専門課程保育福祉学科を卒業する者は保育士の資格（児童福祉法第18条の6）を取得することができる。</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	3人	10.7%
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更（就職）、欠席超過による学業不振</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、教員に対しても科内での管理職を交えたミーティングを設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,044 単位時間/単位	1,251 単位時間 /単位	877 単位時間 /単位	456 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,584 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		41人	37	4人	0人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務会議及び授業研究により、授業内容、授業方略、到達目標、目標到達までの学習順序や手順、成績評価の方法などが、授業科目の特性、専門分野における知識や技術の進歩、社会の変化などに適合し、最良なものになっているかを検証している。また、教育課程編成委員会を設置し、外部委員として専門分野の有識者、実務家、関連企業や団体の職員等を招いて、社会のニーズに合った教育内容になっているか、将来の職業で活かせるような学習内容や教授方法になっているか、評価の方法が適切であるかなどについて意見をもらい見直しを行うことで、授業計画（シラバス）を含む教育課程編成全体の改善を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 学業成績は、授業科目ごとに行う試験によって判定する。ただし、授業科目によっては、その他の方法で判定する場合がある。学業成績の判定は、優、良、可、不可の4種をもって表し、次のとおりとする。優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 所定の授業時間以上履修し、かつ、その該当する授業科目に合格した者で、学習成績ならびに出席状況を審査して卒業（又は進級）を決定する。なお、当学科は、養成施設の修了認定基準を定め、次に掲げる3項目に基づき、校長がこれを認定する。 1 履修時間の出席率が基準を満たしている者 授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2を満たす者 実習の出席時間数が履修時間数の5分の4を満たす者 2 授業科目ごとの学業成績で合格を修めた者 3 実習先施設で実習要件を満たしたと評価された者
学修支援等
（概要） 個別相談・指導等に対応するほか、学生の事情に応じ、家庭への電話、Eメール等で連絡、個人面談、保護者との連携、三者面談等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	0人 (0%)	10人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 高齢者福祉業界（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）各種福祉施設 等			
(就職指導内容) 全体指導によるレクチャー、自己分析面談、個別進路面談、求人紹介、個別面接練習、入社前準備プログラム（PCP教育）、学内業界研究セミナーや就職ガイダンス等において履歴書やエントリーシートの書き方、説明を実施、随時、個別面談を行っている。適性検査、就職模擬試験（筆記試験）と模擬面接を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、レクリエーションインストラクター、等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0%
(中途退学の主な理由) -		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の様子（出席状況、授業態度、交友関係、小テストの成績等）をクラス担任ミーティングで共有し、注意を要する学生に対する支援策を都度実施している。また、教員に対しても科内での管理職を交えたミーティングを設け個々の学生に適した指導、助言、相談等を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
医療管理 2 年制学科	100,000 円	600,000 円	380,000 円	
医療福祉専攻科	100,000 円	600,000 円	380,000 円	
保育福祉学科	100,000 円	600,000 円	470,000 円	
介護福祉学科	100,000 円	600,000 円	470,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自己点検評価についてはHPに公開している。 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 1. 学校関係者評価の基本方針について 当校の学校関係者評価の方針は、「学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである」この教育理念に基づき、自己評価を実施し評価結果を踏まえ、自己評価結果の客観性・透明性を高めることを目的に、関連分野の業界関係者、卒業生、地域住民などの学校に密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営等の改善を図るため、学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会を設置して規定の評価項目から評価する。 2. 学校関係者評価は「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を用いて、評価結果については、学校長を通じて次年度の重点目標の設定や具体的取組などについての学校運営改善を図るものとする。 【主な評価項目】 (1) 教育理念・目標 (理念・目的・育成人物像等) (2) 学校運営 (運営方針、事業計画、人事・給与制度、意思決定システム等) (3) 教育活動 (目標設定、教育方法、成績評価、単位認定、資格受験指導等) (4) 学修成果 (就職率、資格取得率、退学率、卒業生の社会的評価等) (5) 学生支援 (就職支援、学生相談体制、課外活動支援、保護者連携等) (6) 教育環境 (施設・設備、学外実習、インターンシップ、防災・安全管理等) (7) 学生の受入れ募集 (学生募集活動、入学選考、学納金等) (8) 財務 (財務基盤、予算・収支計画、監査、財務情報の公開等) (9) 法令の遵守 (関係法令・設置基準等の遵守、個人情報の保護、情報公開等) (10) 社会貢献・地域貢献 (社会貢献・地域貢献、ボランティア活動等) 3. 評価委員の構成 専門分野における業界関係者、卒業生、地域住民、高等学校職員、学校運営に関する専門家 (学校マネジメント、財務等の専門家) などから4名以上選出する。 4. 評価結果の活用 学校関係者評価委員会は、年度内に1回以上 (原則8月) 開催し、自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価し、各委員による検証・委員からの継続的改善を図る観点より意見・助言を求める。学校関係者評価の結果を基に、次年度の教育活動及び学校運営等の改善に活用する。

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
佐田整形外科病院	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
福岡大学病院	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
保健医療福祉大学	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
福岡県保育協会	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
板付保育園	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
福岡県介護福祉士会	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
社会福祉法人 花筏会 特別養護老人ホーム博多さくら園	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
社会医療法人 青洲会 介護老人保健施設青洲の里	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	企業等委員
社会医療法人 青洲会 福岡青洲会病院	令和元年7月1日～ 令和3年3月31日	卒業生

学校関係者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価についてはHPに公開している。 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 当該学校に係る情報についてはHPに公開している。 https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/
--